

令和2年度
事業報告書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

一般財団法人清和文楽の里協会

1. 一般財団法人清和文楽の里協会

(1) 法人の概況

①法人の概況

一般財団法人清和文楽の里協会は、伝統芸能清和文楽を核とした農村文化と自然を生かして、地域の文化水準の高揚と地域の活性化を図り、住民福祉の向上と充実に寄与するための清和文楽邑及び、豊かな自然の中での天体観測又は天文教育の普及及び都市と農村の地域間交流を図り、併せて青少年の健全育成に資することを目的とした清和高原天文台を運営する為に平成9年に設立されました。

② 設立年月日 平成9年4月1日

③ 事業（定款第4条）

- ・清和文楽の保存伝承及び後継者の育成
- ・清和文楽館の管理運営
- ・清和地域の食文化の振興
- ・清和物産館の管理運営
- ・清和地域の自然に関する調査研究及び広報活動
- ・清和高原天文台関係の管理運営
- ・山都町住民の文化活動の促進
- ・前各号のほか、この協会の目的達成上必要な事業

④ 主たる事務所 熊本県上益城郡山都町大平 152 番地

⑤ 役員等に関する事項

役員等

理事 坂本美喜雄(理事長)、坂本英博、川口泰介、原住寿秋

評議員 渡辺民生、片山勇次、荒木一幸、白鷹正行、渡辺八千代、平川知恵美、
原田さゆり

監事 澤村祐治、春高 一

⑥職員に関する事項

清和文楽館 飯星直子、佐藤義和、岡本 翔

清和物産館 上田真代、渡辺奈津子

清和高原天文台 渡辺 久(兼 営業)、山下真衛

営業 東 美香

⑦ 許認可等に関する事項 平成23年3月18日一般財団法人移行認可 熊本県知事

(2) 沿革

平成4年4月25日	清和文楽館落成
平成5年4月25日	清和高原天文台落成
平成6年4月25日	清和物産館落成
平成9年3月31日	財団法人清和村文楽の里協会設立 理事長 甲斐 敏就任
平成10年4月	天文台宿泊棟全10棟完成
平成11年4月25日	レストラン星座の森落成
平成11年6月8日	理事長 兼瀬哲治就任
平成13年4月1日	道の駅 清和文楽邑落成
平成16年4月24日	清和郷土料理館落成
平成16年11月30日	財団法人清和文楽の里協会へ名称変更登記
平成17年5月26日	理事長 甲斐利幸就任
平成18年4月1日	指定管理者制の下管理運営
平成19年3月27日	理事長 福田幸一就任
平成20年3月	栗加工施設物産館敷地へ移転
平成20年12月	新公益法人制度施行（特例民法法人へ）
平成21年4月1日	指定管理制の下で運営開始（期間5年）
平成21年5月25日	理事長 福田幸一再任
平成23年4月1日	一般財団法人へ移行登記
平成25年6月19日	理事長 鈴木幸生就任 評議員、理事監事改選
平成26年4月1日	指定管理制の下で運営開始（期間5年）
平成27年6月16日	理事長 鈴木幸生再任 評議員、理事改選
平成28年11月	西日本文化賞受賞
平成29年6月5日	理事長 坂本美喜雄就任 理事改選
平成31年4月1日	指定管理制の下で運営開始（期間5年）
令和元年6月20日	理事長 坂本美喜雄再任 評議員、理事改選

(3) 加盟組織

熊本県観光連盟／道の駅熊本県分科会／熊本県公立文化施設協議会／全国公益法人協会／熊本東法人会／熊本労働基準協会／上益城観光推進協議会／山都町観光協会／NTT ユーザー協会／町村会／JTB 観光券契約店連盟／熊本教育旅行誘致協議会／山都町商工会／熊本県博物館連絡協議会

(4) 管理施設の概要

施設名	主要用途	主な設備
清和文楽館	劇場・資料館・文化ホール	客席200席
清和物産館	物産展示即売、食文化試食販売	食堂120名
清和郷土料理館	食文化試食販売・多目的ホール	大食堂120名、個室20名
栗加工所	栗菓子製造	
清和高原天文台	天体観測・宿泊・食堂	天文台、宿泊棟10棟、レストラン
道の駅トイレ 及び駐車場	公衆トイレ 駐車場	男子トイレ5、女子トイレ4 多目的トイレ1、駐車帯59台(大型3)

2. 全体行事経過

期 日	行 事	備 考
5月23日	決算監査	令和元年度決算監査
5月30日	理事会	令和元年度決算について
6月24日	評議員会	令和元年度事業報告及び収支決算報告について 評議員、理事及び監事の選任について
6月24日	理事会	5月末実績について
7月27日	理事会	6月末実績について
8月24日	理事会	7月末実績について
9月30日	上半期実地棚卸	実地棚卸
10月30日	上半期決算監査	上半期決算監査
10月30日	理事会	上半期決算報告
12月3日	理事会	10月末実績について
1月28日	理事会	12月末実績について
2月25日	理事会	1月末実績について
3月29日	理事会	2月末実績について
3月29日	評議員会	2月末実績について、令和3年度事業計画
3月31日	決算実地棚卸	年度末実地棚卸

3. 利用者数等

[単位：人件]

施設	項目	令和2年度	令和元年度
文楽館 (人)	公演	3,162	5,052
	見学	774	1,271
	その他	0	312
	合計	3,936	6,635
天文台 (人)	天文台	2,424	3,464
	宿泊	1,487	2,033
	合計	3,911	5,497
物産館 レジカウンター数 (件)	売店	52,359	65,372
	食堂	19,611	22,536
	合計	71,970	87,908

物産館：カウンター数は9月よりPOSレジ入替、券売機導入の為、前年度とは異なります。

各施設の事業報告

(1) 清和文楽館

◇伝承事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、熊本県や山都町の方針に従い 4 月 6 日から 5 月中旬まで休館しました。団体での外出など自粛傾向もあり予約公演も殆どない状況でしたが 9 月から 12 月にかけて社会科見学旅行で県内の 35 の小学校、2,664 名の利用がありました。公演は全国公立文化施設協会が示す「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を遵守し、対策を徹底し受入れました。

また、後継者育成として教育委員会と連携し文楽講座を毎週水曜日に開催しました。小学生の部（4・5・6 年生）に 9 名、一般の部に 8 名参加があり、太夫・三味線・人形遣いに分かれ職員や保存会が指導者となり行いました。

昨年度に続き鳴り物（鼓・大鼓）を中村花誠氏、笛を藤舎仁鳳氏に指導頂き、「寿式三番叟」の中の「片砂切」「大ユリ」「段切」の習得に努めました。

熊本県文化財保存整備事業、山都町清和文楽人形芝居保存事業で教育委員会の指導を受けながら、かしらの調査や「絵本太功記」十次郎、「日高川入相花王」船頭の衣装軽量化を行いました。

◇対外事業

対外事業として、熊本に残る伝統芸能にふれる「熊本県いきいき芸術体験教室」事業で県内の小中学校 5 校で、人形解説・「むじな」・「雪おんな（1 景）」を公演しました。また、1 月 3 日にイオンモール熊本で「寿式三番叟」と「雪おんな」を上演しました。

◇新作制作

令和 4 年度完成に向けた新作制作事業では、当協会、清和文楽人形芝居保存会、山都町、山都町教育委員会を委員として、オブザーバーに淡路人形協会、熊本県立劇場、熊本県の協力を仰ぎ清和文楽新作制作事業実行委員会を組織し制作を始めました。

又、コロナ禍で感染拡大防止のため休館を余儀なくされている中、当館では、コロナの終息を願い、「寿式三番叟」や「パプリカ」の動画や雪おんなの人形を熊本ゆかりの妖怪「アマビエ」へ変化させ SNS で配信しました。そうした中、熊本県立劇場より「アマビエを人形浄瑠璃にしてみませんか」と提案をいただき、熊本県立劇場プロデュース事業として 5 月から制作がはじまりました。

脚本に松本真奈美氏、作曲・浄瑠璃・人形振付に淡路人形座、作調（鳴り物）中村花誠氏、作調（笛）藤舎仁鳳氏、衣装デザイン・制作に熊本デザイン専門

学校、舞台制作に吉本美術と多くの方の協力を得て新作「肥後アマビエ戀歌異聞」が完成し、熊本県立劇場リニューアルオープン記念で3月20日に初演を終えました。

- ・見学売上 241 千円（前年度 536 千円）
- ・公演鑑賞売上 2,089 千円（前年度 6,273 千円）
- ・出張公演 1,080 千円（前年度 2,665 千円）
- ・公演回数 84 回（前年度 187 回）

（施設管理部門）

3月 シロアリ駆除（町負担）

管理運営に関する基本協定書に基づいて良好状態を維持管理し館内の清掃業務、緑化管理、保守点検、防火管理などサービス面、安全面について管理を行いました。また、老朽化・経年劣化による施設・設備の営繕箇所については町へ随時報告してまいりました。

(伝承事業)

開催日	事業名	動員数等(人・回) 2年度/元年度	備考
4月	寿式三番叟・パブリカ動画配信	動画配信	YouTubu
4月	雪おんなをアマビエへ変化		Facebook、HP
4月25日	春の豊作祈願公演		中止
4月25日～5月6日	ゴールデンウィークフェスタ		中止
通年	定期公演・予約公演	84回/187回	5月24日より定期公演再開
6月～	ケンゲキアートチャンネル「#おうちで拍手を！」	動画配信	清和文楽PR・「むじな」
8月13日～15日	おかえりなさいフェスタ	40人 / 104人	日高川ミニ
9月	清和文楽の里まつり		中止
9月～12月	県内小学校4年生社会科見学	35校、2,664名	傾城阿波の鳴門ミニ・千畳座敷
10月	薪文楽		中止
10月	九州人形フェスティバル		中止
11月28日～29日	豊竹嶋太夫追悼公演	159人	寿式三番叟・雪おんな
1月2日	新春公演	10人/92人	寿式三番叟・日高川入相花王
7月～12月	太鼓・鼓研修	9回	指導 中村花誠氏
7月～12月	笛研修	9回	指導 藤舎仁鳳氏
12月～3月	「肥後アマビエ戀歌異聞」稽古		

(対外事業)

開催日	事業名	備考
10月22日	玉名市立高道小学校出張公演	いきいき芸術体験教室
11月18日	菊池市立菊池北小・中学校出張公演	いきいき芸術体験教室
11月	護国神社菓子祭り出張公演	中止
12月15日	人吉立東間小学校出張公演	いきいき芸術体験教室
12月17日	玉名県立玉名高等学校附属中学校出張公演	いきいき芸術体験教室
1月3日	イオンモール熊本出張公演	アドルーム
2月27日	健軍文化ホール出張公演	中止
3月20日	熊本県立劇場出張公演(肥後アマビエ戀歌異聞)初演	熊本県立劇場
3月27日	水前寺出水神社出張公演	中止

(中庭利用実績)

開催日	事業名	備考
4月～3月	グラウンドゴルフ (50回)	各集落・団体等
12月	清和文楽館杯グラウンドゴルフ	中止

(地元小中学校等に関する関連事業)

開催日	事業名	備考
6月～3月	文楽クラブ(清和小) 三味線指導 1回60分	13回 3月学習発表会
6月～3月	総合的な学習(清和小) 6年生対象 人形、太夫、三味線 1回60分	40回 3月学習発表会 3月6年生披露
6月～3月	文楽講座(小学生の部)	36回
6月～3月	文楽講座(一般の部)	37回

(施設管理業務)

開催日	事業名	備考
通年	道の駅トイレ清掃(朝夕2回)	
通年	電気設備点検	1回/月(九州電気保安協会)
通年	浄化槽保守点検	2回/月(大谷清掃公社)
通年	閉館時の警備	業者委託(九州警備)
通年	文楽邑周辺美化作業(芝刈、草刈)	
9月2日	通報訓練・避難訓練	
9月28日	消防用設備点検	業者委託(中九州アイエス)
1月14日	建築設備定期点検	業者委託(日本技術)
1月14日	特定建築物調査	業者委託(日本技術)
3月3日	消火訓練・通報訓練・避難訓練	山都消防員派遣依頼
3月22日	防火対象物点検	業者委託(中九州アイエス)
3月22日	消防用設備等点検	業者委託(中九州アイエス)
3月25日	上益城消防立ち入り検査	山都消防署

〔2〕清和物産館

清和物産館は28年目を迎えました。(経常収益計89,950千円、経常費用計81,365千円、経常利益は8,585千円)

本年度は、4月27日～5月10日まで山都町の休業要請をうけ臨時休館となりました。ゴールデンウィーク中の売上が昨年から約1千万の減となり、全体では昨年度の20%減となりました。7月までは豪雨もあり、更に来客数が減り売上減となりました。8月のお盆は新型コロナウイルスの感染者数も減少しており、昨年の8割ほどの売上となりました。

10月11日は、「GOTOトラベル」を利用されるお客様が「地域共通クーポン」でお買物とお食事に来られました。また、「山都町食べ行く券」「山都町応援券」を利用して物産館でお買物やお食事をされる方が多くありました。

1月～3月は緊急事態宣言が発令され、GOTOトラベルも停止となり、4年ぶりの積雪にも見舞われ、売上が伸びず事が出来ませんでした。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、売店では入館時の手指消毒・検温・マスク着用をお願いをお声がけしたり、食堂のテーブル席にはアクリル板と飛沫感染防止の為の注意喚起のPOPを設置しました。また、物産館内は常時換気を行い感染拡大防止に努めました。

部門毎の事業報告は次の通りです。

(売店)

団体客が減り、家族単位で移動されるお客様が増え、これまで良く売れていた箱菓子などのお土産品よりもご自宅消費用の加工品や雑貨などが良く売れていました。新規に商品を出荷される取引先が山都町内で8件・町外で2件増え、主に手作り雑貨品が増えました。年末のお節の販売も買い控えが懸念されましたが、予定数1,000個を完売しました。ジビエ販売はご自宅用で購入される方が多く、8月の店頭販売も昨年並みの売上となり、全体的に売上減の中ジビエ商品だけは4%増となりました。

(栗加工)

ゴールデンウィークに販売出来なかった事もあり昨年から20%減となりましたが、生産管理を徹底し、売れ残りが出ない体制を整えてきました。県内外にリピーターも増えてきており、ネット通販で購入いただく機会も増えてきています。

(野菜)

ゴールデンウィークの臨時休館や、豪雨・積雪なども重なり、全体での売り上げは昨年の35%減となりました。関東・関西への出荷も緊急事態宣言の影響で19%減となりました。

出荷者は8名増え、これまでになかった野菜も売店に並ぶようになりましたが、全体的に高齢化が進んでいるので、出荷者を増やし安定した野菜の販売に繋げていく事がこれからの大きな課題です。

(食堂)

食堂のご利用は団体予約はなく、個人のお客様がほとんどでした。法事の仕出し弁当や、お花見・行楽弁当のご注文は例年より多くありましたが、イベントの中止や団体予約のキャンセル、一般の利用が落ち込んだため、売上は昨年から43%減でした。予約販売で提供していた「ジビエハンバーグ」も通常メニューとして定着し、好評をいただいています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、提供までに時間のかかるメニューを見直し、待ち時間を減らす様取り組みました。

(修繕)

浄化槽修繕(山都町負担)/エアコン修繕(協会負担)

(購入)

食堂食器洗浄機3台入替(山都町負担)/ガスコンロ3台入替(山都町負担)

(主な行事)

日付	行事名	行事内容
4月25	春の豊作祈願公演	中止
4/25～5/6	ゴールデンウィークフェスタ	中止
7月後半	絵本カーニバル	中止
8/12	ペルセウス座流星群観望会	カレー・ジビエインナー等販売
8/13～16	おかえりなさいフェスタ	対面販売(ヤマメ・ジビエ等)
9月	清和文楽の里まつり	中止
10月	薪文楽	中止
11/28・29	嶋大夫追悼公演	弁当
12/12	清和文楽出張	物販(くまモンスクエア)
12/18	清和中学校食育体験	郷土料理体験
12/25～27	お節詰込・発送	1,000個
1/1～3	お正月特別メニュー	食堂
2/28	上益城観光物産展	物販(野菜、菓子、加工品)

〔3〕清和高原天文台

清和高原天文台は開館より 27 年目を迎え、山都町指定管理者として第 4 期 2 年目の管理運営を行って来ました。

本年度の収支決算額は、全体収入額22,514千円（うち受託料収入6,360千円）、経常費用合計19,346千円、経常利益は3,167千円でした。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大最中に新年度がスタートし、感染対策に追われた1年でした。収束も見えない中でGW及び年末年始直前の2回に亘る緊急事態宣言によって売上、利用者数ともに大きな打撃を受けました。その状況の中で国及び県の宿泊観光支援事業を活用しながら売上回復に努めました。

また、感染拡大の影響を受け積極的な集客活動ができない時期もあり、余儀なく中止せざるを得ないイベントもありましたが、一方で感染状況を見極めながら、複数の小規模イベント開催に取り組んできました。

（天体観測事業）

令和2年度の観測者数は 2,424 人（前年度 3,464人）でした。夜の天体観測会は、完全予約制として 1 回の人数を 10～15 名以内に制限し、観測会開始前には検温、消毒、マスク着用、チェックシート記入、3 密予防を呼び掛けるなど感染対策を徹底しました。

第 1 回清和高原天文台杯グラウンドゴルフ大会、GW 凧あげイベント、清和高原スターフェスタは中止となりました。スターフェスタに変わる小規模イベントとしてペルセウス座流星群観望会を「山都町元気回復プロジェクト事業」の助成を受け、50 組 200 名の予定で開催したところ、約 250 名の来館者がありました。

毎年恒例のこたつかんぼう会は 10 月下旬から 12 月中旬にかけて実施しました。コロナ感染者が減少している時期でもあった為、例年並みの参加実績でした。

12 月は小惑星探査機はやぶさ 2 の地球帰還、ふたご座流星群のピーク、木星土星の大接近など話題の多い月となりました。

1 月以降は大雪による悪天候、熊本県独自の緊急事態宣言が発令され、平日は臨時休館としました。その為、観測者は大幅に減少しました。

(宿泊施設及び食事提供に関する事業)

本年度の宿泊利用者数1,487人(前年度2,033人)、利用棟数は444棟(前年度573棟)でした。宿泊利用者には検温、手指の消毒、マスク着用の他、滞在中の感染対策への協力を呼び掛けるなど安心安全に利用できる施設を心掛けました

ゴールデンウィーク直前には、第1回目の緊急事態宣言が発令され、宣言解除後の7月、熊本県宿泊応援事業「くまもつと泊まろうキャンペーン」、8月には国のサービス産業消費喚起事業「GOTOトラベル事業」の承認を受けたことで、売り上げも回復傾向に向かっていましたが年末に2回目の緊急事態宣言が発令されると同時に「GOTOトラベル事業」も一時停止となり、年末年始の宿泊予約の取り消しが相次ぎました。3月には熊本県独自の宿泊助成事業「熊本再発見の旅」が新たに始まるなど三つの助成事業が全体売り上げの下支えとなりました。

宿泊部門では、食事付きプランを提供しました。食事内容は地元産のジビエ焼肉の他、和牛入りを新たに加えました。

食事付きプランの他、部屋にあるキッチンや設備を活かした自炊のできる貸しロッジプランを提供しましたが、感染対策として予約されるケースが目立ちました。

その他、季節に応じて特典付き宿泊プラン(ブルーベリー狩りプラン、五ヶ瀬ハイランドスキープラン、イチゴ狩りプラン)の販売も行い、稼働率アップに努めました
インターネットによる宿泊受付を拡大していく為、新たに自社ホームページからの予約サイトを開始しました。

レストラン運営においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊者の食事利用が大半で一般利用者は大幅に減少しました。

(年間行事)

開催日	行事名	備考
4/1	パブリカ動画配信	職員、地域住民出演
4/10	第1回清和高原天文台杯グラウンドゴルフ大会	中止
4/27~5/10	天文台、宿泊施設、レストラン臨時休業	緊急事態宣言に伴う休業要請
5/5	清和高原の大空で凧をあげよう	中止

6/21	部分日食かんぼう会	11名参加
7/7~8/7	七夕観望会	館内に七夕飾り
7/10~8/31	くまもつと泊まろうキャンペーン	38組142名
7/30~12/28	GOTOトラベル事業	*地域共通クーポン10月開始
8/11	清和高原スターフェスタ	中止
8/12	ペルセウス座流星群観望会	248名*フットパス同時実施
9/12	天の川と記念撮影	天候不良のため中止
10/1	中秋の名月「お月見会」	19名
10/31~12/20	こたつかんぼう会	40組84名参加
12/6	お帰りにさいはやぶさ2	産山天文台長講演 23名
12/13	ふたご座流星群観望会	22名
12/21	木星土星大接近	熊日記事で紹介
12/28~1/11	GOTOトラベル事業一時停止	2回目の緊急事態宣言
1/1 (6時~8時)	初日の出観望会 (芝生のみ開放)	約30名
1/20~2/21	臨時休業 (土日のみ営業)	熊本県独自の緊急事態宣言
3/17~4/28	くまもと再発見の旅	24組74名

(施設管理)

- 天文台 館内外の清掃、備品の維持管理、建物点検
- 宿泊棟 室内の清掃、備品の維持管理、建物点検
- レストラン 店内の清掃、備品の維持管理、建物点検
- 閉館時の警備 業者委託 (天文台、レストラン)
- 防犯対策 防犯カメラの設置 (館内外3か所設置)、防犯シール
- 浄化槽管理 業者委託 (定期点検、浄化槽内清掃、排水管の清掃)
- 消防訓練 通報、避難誘導、消火訓練 (9月、3月)
- 環境整備 敷地内の芝刈り及び草刈り
- 樹木管理 剪定、消毒

(営繕実績)

設備等の老朽化、経年劣化による故障が相次ぎ、営業に支障を来たしましたが町及び協会内で順次対応しました。

緊急を要する修繕箇所が各施設に複数残っている為、町と協議しながら改修計画を進めて参ります。

○協会負担

- ・ レストランデッキ防腐剤塗装 (7月)
- ・ スライディングルーフ制御盤修繕 (1月)
- ・ 天文台、キャビン換気扇交換 (10月)

○町負担

- ・ 大型望遠鏡制御盤修繕 (8月)
- ・ レストラン食器洗浄機交換 (10月)
- ・ 宿泊施設空調機設置工事 (10月)
- ・ 浄化槽ブロワ修繕 (11月)